

2003年度物性物理学特論 採点する質問について

2003.10.3 担当 吉森 明

この授業では、単に質問を授業に役立てるだけでなく、採点をして成績評価の対象にしています。単位の必要な人はこの質問か宿題のレポートのどちらか、あるいは両方提出して下さい。

- 質問の内容は、I-2. 以降の授業に関してですが、必ずしも出席の必要はありません。
- **授業1回につき100点満点**とします(下記採点基準参照)。したがって、1回の授業に複数質問しても、合せて100点満点で採点します。
- 採点結果と質問に対する回答は、**原則としてwwwのページでお知らせします**。質問の内容そのものも公開しますので、公開したくない人、あるいはwwwを見れない人は、特にそう書いて下さい。その場合、別途、採点結果と回答を質問された人に配布します。
- 締め切りは、**次の授業**までです。それ以降に提出しても構いませんが、60点満点にします。レポートの締め切り以降は受け付けません。
- 書式は所定の紙に書かなくても構いません。名前と番号と**質問する授業の月日**を書いて下さい。提出する日ではありません。
- **理解度が分かるように質問を工夫して下さい**。

採点基準は、以下の通りです。

1. 質問として日本語の意味が通る。(5点)
2. 1. を満たし、さらに質問している内容について、きちんと授業を聞いていることがわかる。(10点)
3. 1. と2. に加えて、章のはじめに書く「目標」の、各項目に関する理解度に応じて採点する。たとえば、項目の半分を理解していることがわかる時は、50点となる。(次の授業より遅く出した時は、30点。)
4. さらに重要な点で間違いを指摘している。(+20点)